

甲種防火戸

甲種防火戸 こうしゅぼうかど

火災の際に火炎を通しにくい構造の戸をいうが、平成12年の建築基準法改正ではこの用語は廃止され、これにほぼ該当する用語として「特定防火設備」が用いられるようになった。改正建築基準法では、特定防火設備は通常の火災の火炎を受けても1時間以上火炎が貫通しない構造と規定されているほか、火災時に確実に閉鎖させるため、常時閉鎖型（人間が意識的に空けている時以外は閉鎖される形式）または随時閉鎖型（火災を感知すると閉鎖される形式）であることが求められている。

<登録年月>

2012年05月
